

# 年頭のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。本年が皆さまにとって、健康で明るく希望に満ちた年でありませうとお祈り申し上げます。また、日ごろから町政全般に対する温かいご理解とご支援に心から感謝申し上げます。昨年は、新年早々から記録的な大雪の影響で、波乱のスタートとなりました。3月には東日本大震災が発生、本町では被害は大きくなかったものの、停電や燃料不足などの影響が出ました。9月にも台風15号による豪雨で河川が氾濫するなど、安全・防災対策を見直す1年となりました。

その一方で、町の最重要事業であった「地域情報通信基盤施設」が完成し、4月から本格運用を開始しました。町全域においてタイ

夢しか  
実現する  
ものはない！  
高巻町長 鈴木重男

ムリな防災・行政情報の受信、地デジ・ラジオ放送の視聴、高速インターネット利用など、都市部と遜色ない情報通信サービスの利用が可能となりました。自主放送チャンネルの「くずまきテレビ」では、「くずまきトピックス」などの番組により町内の各種情報の提供に努めています。

さらには、過疎地域自立活性化優良事例表彰の最高位賞である総務大臣賞の受賞、葛巻高校生による葛巻神楽のドイツ公演など町民が一体となり輝いた年でもありました。

私は、昨年8月の町長選挙において、多くの町民の皆さまからのご支援を賜り再び町政を担当させていただくこととなりました。町民の皆さまが日々の生活で感じているさまざまな「不安」を一つ一つ解消していくことが、本当の意味での「豊かさ」や「幸せ」に繋がっていくものと思います。これらの「不安」を一つでも多く解消し、町民の皆さまが本心に安心して暮らせる町づくりを推進することが、2期目の町政において最も優先的に取り組むべき課題であると考えております。

「安心して暮らせる町づくり」を目指し、今後ともさまざまな施策を展開して参ります。年頭に当たり皆さまのご多幸を祈念いたしますとともに、本年も格段のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

## たつどし生まれに 聞きました



	男	女	計
大正5年	2	5	7
昭和3年	39	72	113
昭和15年	55	61	116
昭和27年	83	71	154
昭和39年	47	55	102
昭和51年	43	26	69
昭和63年	31	17	48
平成12年	24	26	50
計	324	333	657

(23・12・26現在)



**延** 大正5年生まれ  
足ノイさん (95 寺田)

生まれは福島県、嫁っこさ来てからは炭焼きをやって暮らしてきました。この頃は、夏は草取り、冬は本を読んだり歌っこを歌ったりしてストーブにあだっています。何でも好き嫌いなく食べれるし、体の痛いところもありません。玄孫(やしやご)が7人います。頑張りますよ100歳まで。



**川** 昭和27年生まれ  
向正勝さん (59 小屋瀬)

昨年は大雪、震災、台風と消防団も災害対応に奔走、自然の猛威を実感した一年でした。秋に息子が結婚し、ひと段落しました。今年、還暦を迎えますが、60歳と言っても若い者と同じ気持ち。何ごとにも前向きに、竜のように燃えて頑張れる年にしたいと思っています。



**上** 平成12年生まれ  
川原一輝さん (11 皇野)

夏に葛巻小学校の5年生で、グリーンキャンプに区界高原へ行き2泊しました。高いところがちょっと苦手なんだけど、みんなと一緒に初めて登山にチャレンジしました。好きな教科は、算数と理科。パソコンにも興味があるので、キーボードのローマ字入力を頑張ってます。



**村** 昭和15年生まれ  
上ノリさん (71 江刈川)

森のそば屋で週2〜3日、そばを打ちながら仲間と話をするのがとても楽しいです。腰や膝など痛いところが多くなって大変ですが、孫が牛舎を手伝ってくれるようになりとても頼もしいです。昨年はそばの実が少なかったけれど、今年は実りが良いといいなあ。



**酒** 昭和51年生まれ  
多エリ子さん (35 田子)

昨年の大晦日は、大雪なのに雷も鳴って、ばあちゃんが「何がのお告げだべか?」と言っていました。だから災害が多かったんですね。子どもが中2と小3になり、だいぶ手がかからなくなりました。今の仕事に役立てるため、これから資格取得に向けて猛勉強します。



**横** 昭和3年生まれ  
山定身さん (83 四日市)

乳牛20頭いますが朝晩、子っこべごをあずがったり、息子が搾るのを助けたりしています。春から秋までは畑で野菜も作っていますが、昨年の出来は上々でしたよ。自分の分の仕事をやる気になっていけば、としょうない。朝の一番がうまいし、夜の晩酌も欠かしません。



**長** 昭和39年生まれ  
菜亜紀子さん (47 山岸)

震災直後、次男の小学校卒業を間近に控えていました。卒業式も何とかわかでき、ごちそうはなかったけれどみんなで持ち寄り、ごちそうだったけどとっても思い出に残る卒業を祝う会になりました。今年、長女が進学で家を離れますが、家族全員健康で過ごせればいいですね。



**今** 昭和63年生まれ  
待秀幸さん (23 寺田)

高校卒業後、北海道やカナダの牧場で研修を積み、春に戻ってきました。今はヘルパーをして町内の酪農家さんから教わっています。とにかく放射能の問題が、早く落ち着いてくれればと願っています。ユニホックが好きで仲間と楽しんでいます。彼女を見つけるのが今年の目標かな。